

患者さんパンフレット

四国がんセンター



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします

- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



内服抗がん剤治療を 受けられる方へ

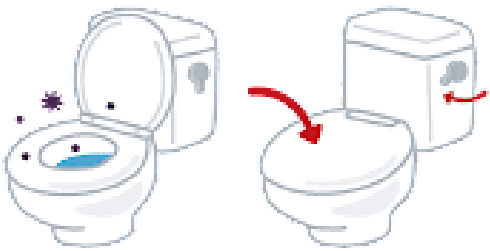
さま

主治医

受け持ち看護師

入院中の生活の注意点



- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
 - ◆経口抗がん剤治療で治療継続中および最終内服日から2日間は、
尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接接触しても健康に直接被害を及ぼすことはありません
が、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう
 - ・尿がこぼれた場合は、トイレトペーパーできれいに拭き取り、
トイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう
 - ・トイレの後、フタがある場合は、
フタをして水を2回流しましょう
- 
- The illustration shows two toilets. The left toilet has its lid up, and there are purple and black particles floating above the bowl. The right toilet has its lid down, and a red arrow points to the lid, indicating it should be closed. Another red arrow points to the water in the bowl, indicating it should be flushed.
- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせ
ください
 - *使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を
結びましょう
 - *トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう
 - ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
 - ・尿や便、吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物
と分けて洗濯しましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりとりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こします
ので尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には、看護師にお伝えください

治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
 - ・レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - ・歯ブラシではとれない細菌の除去
 - ・適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です
治療中や治療後に、その細菌が悪影響を及ぼす
ことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療
前から口の中をきれいにし細菌をできるだけ減
らしておくことが有効です



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように**患者さんご自身の目標**と**医療スタッフの目標**をあげています

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます



入院日～治療前日 月 日～



今日の目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

11:00	入院	<p>【入院後に以下のことを予定しています】</p> <ul style="list-style-type: none">・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
12:00	昼食	<p><説明></p> <ul style="list-style-type: none">・医師より治療の説明があります・サインをした同意書は看護師にお渡しください・看護師より、治療スケジュール、副作用と自己チェック、日常生活の注意点について説明をします・味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら遠慮なくお尋ねください
18:00	夕食	<p><お薬></p> <ul style="list-style-type: none">・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします
21:30	消灯	<p><食事></p> <ul style="list-style-type: none">・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります

薬剤師から治療の流れや副作用の説明があります
注意点について詳しく記載された冊子をお渡しします
治療が開始したら、毎日治療日記を記入しましょう



医療スタッフの目標

- ・入院生活や治療に対する不安がないように支援します



看護師が抗がん剤を保管し、お配りする時期

治療開始日～

月

日～



今日の目標

- 薬を正しく服用することができる
- 副作用について理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 便秘、下痢がない
- 口の中の痛みやトラブルがない
- 治療日記を記入できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

治療日記を記入しましょう

7:30

朝食

- 抗がん剤を服用します
- **看護師がお持ちします**
- 内服後は手を洗いましょう

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

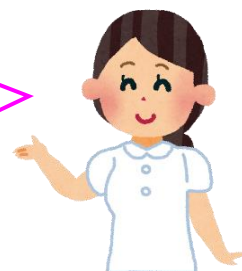
体調に合わせて
シャワー浴をしましょう



18:00

夕食

いつもと違うと感じる症状
があれば、医療スタッフに
お知らせください

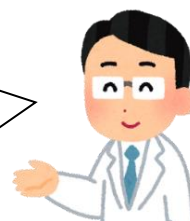


21:30

消灯

医療スタッフの目標

- 薬を正しく服用できるよう支援します
- 副作用の早期発見に努めます



ご自身で抗がん剤の内服時間を確認する時期

月 日～



今日の目標

- 薬を正しく服用することができる
- 副作用について理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 便秘、下痢がない
- 口の中の痛みやトラブルがない
- 治療日記を記入できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

治療日記を記入しましょう

7:30

朝食

- 抗がん剤を服用します
- 内服する時間になれば、ナースコールをしましょう
- 看護師がお持ちします
- 内服後は手を洗いましょう

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

体調に合わせて
シャワー浴をしましょう



18:00

夕食

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- 薬を正しく服用できるよう支援します
- 副作用の早期発見に努めます



ご自身で抗がん剤を管理し、内服する時期

月 日～



今日の目標

- 薬を正しく服用することができる
- 薬を管理することができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 便秘、下痢がない
- 口の中の痛みやトラブルがない
- 治療日記を記入できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

治療日記を記入しましょう

7:30

朝食

- 抗がん剤を服用します
- 抗がん剤はご自分でセーフティーボックスに入れて保管しましょう
- 内服後は手を洗いましょう

10:00

検温
血圧測定

12:00

昼食

体調に合わせて
シャワー浴をしましょう



18:00

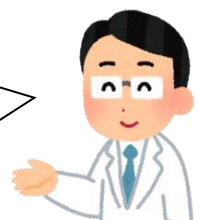
夕食

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- 薬を正しく服用できるよう支援します
- 副作用の早期発見に努めます



退院準備期

月

日～



今日の目標

- 薬を正しく服用することができる
- 薬を管理することができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 便秘、下痢がない
- 口の中の痛みやトラブルがない
- 治療日記を記入できる
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

治療日記を記入しましょう

7:30

朝食

- 抗がん剤を服用します
- **抗がん剤はご自分でセーフティーボックスに入れて保管しましょう**
- 内服後は手を洗いましょう

10:00

検温
血圧測定

12:00

昼食

体調に合わせて
シャワー浴をしましょう



18:00

夕食

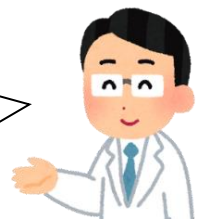
21:30

消灯

退院後の日常生活について説明します
「退院後の日常生活について」ページ参照

医療スタッフの目標

- 薬を正しく服用できるよう支援します
- 退院後の生活に不安がないように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- 薬を正しく服用することができる
- 薬を管理することができる
- 治療日記を記入できる
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる
- 退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温
血圧測定

- 抗がん剤を服用します
- 抗がん剤はご自分でセーフティーボックスに入れて保管しましょう
- 内服後は手を洗いましょう

7:30

朝食

10:00

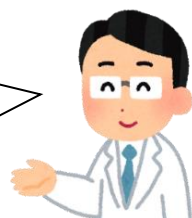
退院
退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので
2階でお支払ください

あなたの次回外来は

月 日 () です

医療スタッフの目標

- 退院後の生活に不安がないように支援します



退院後の日常生活について

* 食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうようなときは、1～2食、食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう



* 発熱

37.5℃以上の熱がでた場合、退院前に薬が処方されている方は、医師の指示どおりに抗生剤や解熱剤を服用しましょう
服用しても熱が続く場合は、がん相談支援センターにご相談ください
薬が処方されていない方は病院に連絡しましょう

* 排泄

毎日排便があるようにしましょう
軽い運動や水分を多めにとりましょう
下痢のときは白湯やスポーツ飲料などをとりましょう
水分を控えると脱水症状を起こすことがあります
便秘気味の方は、緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）で、排便コントロールをしましょう
退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう
* 退院後、便秘が続き排ガスがない、下痢や吐き気、腹痛がある場合は、かかりつけ医、または、四国がんセンターの医師の診察を受けるようにしましょう



*活動

無理をしない程度で体を動かしましょう

活動の内容や範囲に制限はありません

白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう

外出時は、マスクを着用し、帰宅時に手洗い・うがいをしましょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください



*仕事

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が
必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

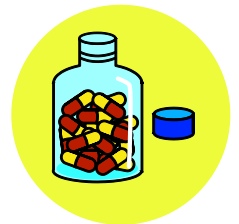
ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



*お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用
してください

ほかの病院の薬を服用する場合は、医師に相談して
ください



治験参加中の方は、発熱時の対応について
担当のCRC※と確認しておきましょう

※CRCとは、臨床研究コーディネーターの
ことです

治験参加中の患者さんには、担当のCRCが
つきます





- 37.5℃以上の熱が出たとき
- 数日間食事、水分がとれないとき
- 嘔吐が続くとき
- 下痢、便秘が続くとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

* 治験参加中の方

【平日】 9:00~17:00
四国がんセンター 臨床研究センター
(直通番号) 089-999-1196

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更

【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112

